

科目名	国際観光論入門 I	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			総合政策学部	□ 必修	■ 選択
英文表記	Introduction to International Tourism Theory I	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いのうえ ひろし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位	
担当者名	井上 寛	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	「観光」から国際社会を理解する				
到達目標	1. 観光とは何かを、全体的に理解できるようになる 2. 観光について、自分の言葉で説明できるようになる				
授業概要	現代社会に特有の「観光」の視点から専門的に学ぶ科目です。これから国際学科で4年間学ぶ上での必要な知識や考え方も学びます。特に、最新の議論を学ぶことを重視しますので、新聞やニュースの出来事を講義でも取り入れていきます。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション—総合政策学部で「観光」を学ぶ意義				
第2回	「観光」とは				
第3回	観光のメリットとデメリット—観光は諸刃の剣				
第4回	SDGsと持続可能な観光				
第5回	サステイナブルツーリズムが生まれた経緯				
第6回	日本の観光発展史				
第7回	観光産業論1—旅行業				
第8回	観光産業論2—OTAの台頭				
第9回	観光産業論3—航空・鉄道・バス				
第10回	観光産業論4—船舶・レンタカー・宿泊施設				
第11回	ホスピタリティ論				
第12回	観光行政・政策論1				
第13回	観光行政・政策論2				
第14回	観光資源論				
第15回	復習				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<p>&lt;予習&gt; 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、教科書、参考文献、WEBサイトなどを活用し、予習をしてください。(90分程度)</p> <p>&lt;復習&gt; ノートを確認し、教科書の該当部分を読んでください。(90分程度)</p> <p>&lt;その他&gt; 新聞やテレビ、インターネットには「観光」の話題が豊富です。常日頃より観光のニュースに関心を持って生活してください。(30分程度)</p>				
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際学科で学修するうえでの基礎を学びますので、観光を学びたい人はもちろんのこと、国際学科の学生は1年次での受講を推奨します。</li> <li>毎時間参考資料はポータルサイトで配布しますので、各自ダウンロードのうえ持参してください。</li> </ul>				
テキスト	島川崇『新しい時代の観光学概論』ミネルヴァ書房 2020年 (2,800円+税)				

参考文献・資料	週刊「観光経済新聞」 ※図書館1階にあります 観光庁 <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/">https://www.mlit.go.jp/kankocho/</a> 日本政府観光局(JNTO) <a href="https://www.jnto.go.jp/">https://www.jnto.go.jp/</a>
成績評価の方法	①定期試験(50%)…知識を問う問題と論述問題を課します ②レポート課題(20%)…ポータルサイトに課題を提示しますので指示した方法で提出してください。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。 ③小レポート(15%)…出席カードの裏面またはポータルサイトでの提出を課します。なお、課題に対して満足に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。 ④取り組み姿勢(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週月曜日 1 時限( 9:00～10:30) 毎週木曜日 2 時限(10:40～12:10)
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	政府は、COBID-19 が世界的に流行する前に、訪日外国人観光客数を 4000 万人にする目標を立てましたが、外国人観光客がたくさん日本に来て「お金儲け」ができれば、私たちは本当に幸せになれるのでしょうか？新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が流行のあと、いま日本の観光はどのように進むべきかを考える時期にきています。私たちはどのようにこの問題を解決すればよいのでしょうか。国際観光論を学ぶことにより、そのヒントが見つかるかもしれません。